公益社団法人福島県看護協会

FUKUSHIMA NURSING ASSOCIATION



相双支部ニュース

支部長あいさつ

新年度がスタートし、早いもので4カ月が過ぎようとしています。特に「相馬野馬追」が5月開催になったこともあり、この地域ならではの「季節」をより早く感じたのではないでしょうか。

皆様には、日頃より支部活動へのご理解、ご協力を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。今年度も昨年度に引き続き、福島県看護協会支部理事(相双支部長)を務めさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

4月の理事会出席を皮切りに、6月6日には、日本看護協会通常総会に初めて代議員として参加させて頂きました。活発な質疑応答がなされ、「自分たち」の日本看護協会活動なのだということが実感できました。皆様も機会がありましたら、ぜひ日本看護協会通常総会に参加することをお勧めいたします。そして、6月19日には、支部理事として福島県看護協会通常総会が無事に終了し、令和6年度の重点事業と活動方針が示されたところです。

相双支部は、県内でも会員数が最少です。しかし、東日本大震災と原子力発電所事故という未曾有の出来事があっても、互いに協力し、できる活動を継続してきた支部でもあります。諸先輩方が継続してきた活動を、微力ながらもつないでいきたいと思っています。

いまだ東日本大震災の影響が色濃く残り、2025年問題と言われた超高齢化社会における看護職への期待は「いまの問題」になっているとすでに多くの看護職の皆様が実感しているのではないでしょうか。

このような地域の状況に寄り添いながら、一人ひとりの日々の「思い」を集結し、一人では解決できない課題も、看護職能団体として活動することで、日々の看護実践がより良いものになるよう、今年度もぜひ皆様からの活発なご意見、支部活動へのご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

福島県看護協会相双支部理事 南相馬市立

南相馬市立総合病院 小野田 克子

役員・委員会メンバー紹介

役 職 4	氏		名		勤務先	
支 部	長	小里	予田	克	子	南相馬市立総合病院
	祁長	中	田	邦	子	公立相馬総合病院
副支部		山	本	美作	代子	渡 辺 病 院
		横	田	明	美	南相馬市立総合病院
書	記	枡	谷	拓	郎	南相馬市立総合病院
		齋	藤	美	香	公立相馬総合病院
会	計	大	橋	美	幸	鹿島厚生病院

役 職 名	氏		名			勤	務	先	
	深	野	美沙子		南相馬市立総合病院				
教育委員会	金	藤	凌	哉	渡	辺	疖	ቫ	院
秋月安見五	島	崎	幸	未	大	町	疖	ቫ	院
	藤	原	康	司	公	立相馬	馬総 ′	合病	院
	紺	野	裕	美	鹿	島厚	生生	病	院
地域看護	紺	野	久美	美子	相	馬中	中央	病	院
活動委員会	浦	栃	裕	子	公	立相思	馬総 ′	合病	院
	志	賀	真	規	渡	辺	疖	与	院
	久米本		江	里	南相馬市立総合和		合症	院	
広報活動	髙	村	めく	(`み	相	馬看記	隻専	門学	校
委 員 会	梅	橋	美	幸	大	町	疖	肓	院
	Л	上	久美子		小	野	田	病	院

令和6年度 相双支部事業計画

1. 研修会 1回/年 9月7日(土)

テーマ「もしものための話し合いにおける看護師自身の準備性」

講師 医療法人社団 はな 院長 原澤 慶太郎氏

2. 看護研究発表会 令和7年2月15日(土)

3. 地域保健活動支援事業

(1) 「まちの保健室」

実施日程 6月1日(土) 10時~15時 ジャスモール南相馬店 催し場

9月28日(土) 10時~15時 道の駅南相馬

10月27日(日) 9時~15時 そうま市民まつり 相馬千客万来館予定

11月30日(土) 10時~15時 小高交流センター

(2) 看護の日看護週間イベント (中学生対象)

8月3日(土) 10時~12時 道の駅南相馬

4. 看護職責任者懇談会 9月6日(金)

「地域包括ケアシステム推進のため、各施設の看護管理者と 行政保健師とのネットワークづくりを行う」

5. 支部ニュース 年2回発行 (8月、3月)



今年度初めてのまちの保健室は、新たな会場として、イオンスーパーセンターでの開催となりました。買い物途中に立ち寄る地元の市民を対象にフレイル予防に焦点を当て取り組みました。利用者は握力測定を体験することで、フレイル予防について理解を深めていました。また、かんごちゃんの登場が場を和ませ、たくさんの集客につながりました。



主 催:公益社団法人福島県看護協会相双支部

実施日時:令和6年6月1日(土)

実施場所:イオンスーパーセンター南相馬



地元の市民が買い物途中で気軽に立ち寄り、相談できる場となったことで、「まちの保健室」本来の目的を達成することができたと感じました。







新人ナースから一言

入職して2ヵ月が経過して、病棟での1日の流れが把握できるようになり、受け持つ患者さんの人数も増えました。まだ、一人では未熟な部分が多く、患者さんを不安にさせてしまうこともありますが、患者さんからの感謝の言葉が励みになっています。患者さんに安心していただけるような知識や技術を身につけられるようにこれからも頑張りたいと思います。







福島県ふたば医療センター附属病院

当院は、双葉郡の富岡町にある救急病院です。

今年度は、1名の新人看護師が入職しました。看護師1年目の 平田七海さんを紹介します。

相馬看護専門学校を卒業後、慣れ親しんだ浜通りで恩返しができればと思い、4月から病棟勤務をし、最近は患者さんを受け持つようになりチームの一員として活躍しています。

一人暮らしを始め、休日は飲食店や観光場所を探索しています。 様々な人生背景や疾患がある患者さん一人ひとりに合わせた看護 が提供できるような看護師を目指しています。







能登半島地震におけるDMAT活動(南相馬DMAT)について

南相馬市立総合病院

副看護部長 佐藤 理香

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、地震と津波、災害関連死も含め死者260名、全壊家 屋8.528棟を含む様々な被害がありました。

南相馬DMATは発災後、厚労省を通じ福島県から待機要請があり、1月17日、正式に派遣要請となりました。派遣期間は1月28日~2月1日までの5日間(移動期間を含め7日間)、派遣先は珠洲市に決定しました。医師1名、看護師2名、業務調達員2名の5名のチームでDMATカーを含む2台の車で支援に向かいました。

私たち看護師の珠洲市での主な役割は、地域の全戸調査、老健施設入所者の健康観察、珠洲市役所職員の診療介助等でした。また、珠洲市総合病院からの依頼を受け、東日本大震災の経験を踏まえ、震災時の状況や病院の復旧や復興について意見交換を行いました。職員間の情報共有や情報伝達方法、被災したスタッフへの対応、病院機能回復までの経緯等、意見交換する中で、「参考になります」「励みになりました」等、支援に対する感謝だけでなく、安堵の様子もうかがえました。

東日本大震災での経験から、「今、被災され辛い思いをされている方々への励まし、声掛けの重要性」「常に、被災者の方の思いに寄り添った活動」「不安な気持ちを少しでも軽減してほしい」これらの思いを持って支援しました。被災された方々の一日も早い復旧、復興、心身の安寧が訪れることを心より願っています。





地域包括ケア病棟開設

医療法人社団 青空会 大町病院

大町病院では、令和6年3月に地域包括ケア病棟を開設しました。病床数は24床です。

急性期での治療を経過した患者様や在宅復帰を目指す患者様を受け入れ、リハビリや日常生活訓練を理学療法士と協働し、看護を提供しています。

地域の中で高齢者が安心して暮らせる環境を調整し、「自分の家に帰りたい」と願う本人の意思を尊重 した支援を行っています。患者様が住み慣れた自宅へ戻り、家族と安心した時間を過ごし、その人ら しく暮らし続けることができるよう退院支援を行っています。







編集後記

今年もあっという間に8月ですが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年度 も様々な協会活動が行われています。地域に密着した活動の情報を皆様にお届けいたし ますのでどうぞよろしくお願いいたします。

広報活動委員:中田邦子 / 川上久美子 / 梅橋美幸 / 久米本江里 / 髙村めぐみ